

第10回社会福祉法人おおすぎ実践報告会のご案内

平素より当法人の運営に多大なご協力とご理解を頂き誠に有難うございます。

実践報告会も10回目の節目を迎えることが出来ました。私たちが取り組んできた実践を報告することで日々の実践を振り返り、皆様からの様々なアドバイスを頂くことでより良い支援を目指していく機会を頂いたことに改めて御礼申し上げます。

また、今回は10回目という節目でもあり、3ケースの実践報告の後、「おおすぎにおける実践とは」というテーマで発表者3名による公開座談会を企画いたしました。個別のケースを通して学んだことの根っこにある共通するものを探っていく中で、私たちが目指している実践とは何かについて皆さまのご助言も賜りながら探っていきたいと思っております。

未熟な報告と座談会になることをお許し頂きご参加願えましたら幸いです。

【内容】

1) 実践報告 13:05~14:35

◆三重県自閉症・発達障害支援センターれんげ 本地 知加子

「障害者雇用で働く A さんの、休職から復職に向けての支援」

発達障害の診断を受けた 20 代後半の男性の A さんが、障害者枠で採用され就労がスタートしたところ、うつ状態となり、休職をしました。その間に復職に向けてできることを本人と共に検討し、関係機関が連携して取り組んだことについて報告いたします。

◆れんげの里 施設入所支援 小嶋 怜子

「重複障害を伴う B さんへの取り組み」

無眼球症で、知的障害を伴う自閉症のある 20 代女性の B さん。てんかん発作による骨折と脱臼を同時に経験された事を契機に本人、職員との信頼関係が相互に構築され、こだわり行動や生活上の不安と困り感が減少していった経過について、職員の反省と学びを報告いたします。

◆城山れんげの里 施設入所支援 木下 具洋

「短期入所に対する気持ちの変化」

短期入所を利用せざるを得なかった 30 代男性の C さん（難治性てんかん・知的障害）が、職員との様々な取り組みを通して徐々に職員と楽しい関係を作り上げ、ご家族の緊急時にも自身の意思も含め利用を前向きに考えてくれるようになった経過と支援について報告いたします。

2) 公開座談会 14:50~15:50

テーマ「おおすぎにおける実践とは」

指定討論者：柳 誠四郎（社会福祉法人おおすぎ理事長）

コーディネーター：井村 裕（城山れんげの里施設長）

登壇者：本地 知加子・小嶋 怜子・木下 具洋

【日 時】令和2年2月2日（日）13:00～16:00

【会 場】城山れんげの里 地域支援棟研修室

※駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合わせでお願いします。

【参加費】無料

【主 催】社会福祉法人おおすぎ

※問い合わせ先 城山れんげの里（井村・田畑）TEL：059-238-0001

【申込先】城山れんげの里

※申し込みはFAX またはメールでお願いいたします。

※お申し込みの受理通知は行なっておりません。

定員を超えた場合のみ連絡をさせていただきますのでご了承ください。

FAX :059-234-6144 メール:shiroyamarenge@zb.ztv.ne.jp

参加申込書

第10回社会福祉法人おおすぎ実践報告会

令和 年 月 日

お名前	所属先及び住所	連絡先(電話等)	備 考
カガナ	所属先 〒		
カガナ	所属先 〒		
カガナ	所属先 〒		

*お申込みは、1月26日（日）までをお願いします。